

# OECD

## Programme for International Student Assessment (PISA)

### 生徒の学習到達度調査



文部科学省



## 調査の背景

経済協力開発機構（OECD）は1980年代後半から各国の教育制度や政策を様々な側面から比較する教育インディケーター事業（INES Project : Indicators of Education Systems）を進めています。その一環として学習到達度について検討する部会ではOECD独自のPISA（Programme for International Student Assessment）と呼ばれる国際的な学習到達度に関する調査を実施しています。2001年12月には調査の初めての成果が国際結果報告書として公表されました。



## 調査の意義

教育システムの管理運営に携わっている学校教育関係者ばかりでなく、生徒、保護者、さらには広く国民にとっても、子供たちが将来生活していく上で必要とされる知識や技能などをどの程度習得しているかを知ることができます。国際的な調査を行い、比較可能な指標を開発することにより、様々な国の生徒がどのくらいの水準にあるかについての情報を提供してくれると同時に、教育を改善しその効率・効果を高めるための方向性、示唆などを得ることができるのです。



OE  
PI

OECD Programme for International  
Monitoring Knowledge and Skills



## 調査の目的

PISA調査の目的は、定期的に国際的な調査を行うことにより、生徒の学習到達度に関する政策立案に役立つ指標を開発することにあります。具体的には、生徒の知識・技能・能力に関する基礎指標（Basic Indicators）、知識・技能などが社会経済的・教育的要因などどのように関係しているかに関する状況指標（Contextual Indicators）及び数回にわたる調査によって得られる変化指標（Trend Indicators）の3つの指標を開発する事を目指しています。



## 期待される成果

調査の結果から、自国の教育システムの成果が他の国に比べてどのような状況になっているかについての情報を得ることができ、国の教育政策や教育実践等に生かすことができます。また、各国で教育システムの効率・効果を恒常的・定期的に評価していく際の基礎となる情報を提供してくれます。

## 国際的調査実施の仕組み

# OECD

## 参加国委員会 (BPC)

調査に参加する国の委員で構成され、調査に関わる全般的な諸問題について検討する委員会。

### 執行委員会 (Executive Group)

BPCの議長、副議長（3名）、OECD代表から構成され、BPCに代わって緊急事項の検討等を行う。日本は副議長を務めている。

### 技術諮問委員会 (Technical Advisory Group)

調査実施上の技術的な事柄について助言・指導する。

### 分野別国際専門委員会 (Expert Group)

調査の内容について助言・指導する。読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの各分野及び学校・生徒質問紙の各委員会が設置されている。

### 国際調査コンソーシアム

オーストラリア教育研究所  
(ACER)

オランダ教育測定研究所  
(CITO)

Educational Testing Service  
(ETS)

Westat（米国調査会社）

国立教育政策研究所  
(NIER)

## 各国調査担当者会議 (NPM)

国立教育政策研究所

文 部 科 学 省

東京工業大学

関係機関との連絡  
国内調査の実施  
国内・国際報告書の作成

OECDとの連絡・調整

学校における調査実施  
状況の調査  
国内・国際報告書の分  
担執筆

## OECD-PISA協力者会議

文部科学省、国立教育政策研究所、東京工業大学のPISA調査関係責任者で構成し、意見調整等を行う。

## OECD-PISA調査委員会

国立教育政策研究所及び東京工業大学のPISA調査担当研究者で構成し、国内調査についての協議を行う。

## OECD-PISA調査プロジェクトチーム

国立教育政策研究所及び東京工業大学の研究者で組織し、調査を実施する。

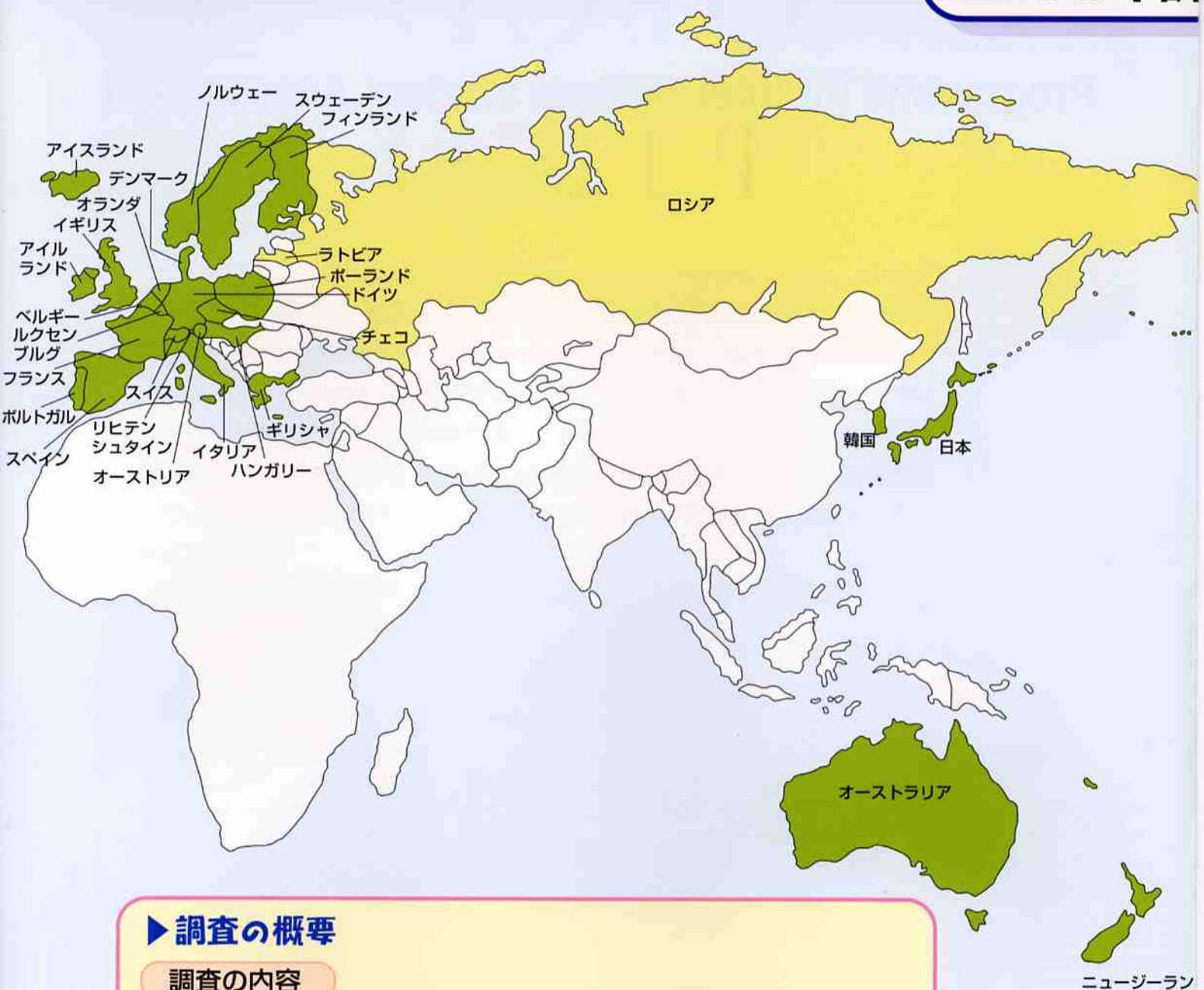
調査協力依頼

## 都道府県・政令指定都市教育委員会

調査実施

高等学校（150校）

## 日本における調査実施の仕組み



## ▶ 調査の概要

### 調査の内容

- 読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの3分野
- 生徒質問紙…生徒の学習環境等に関する質問紙
- 学校質問紙…学校の状況に関する質問紙（回答は学校側）

### 対 象

- 15歳児（国際的に多くの国で義務教育が終了する年齢）  
日本では高等学校一年生が対象
- 全国の全日制高等学校から層化比例抽出した150校、約6,000人の生徒について調査（予備調査は25校）

### 実 施 年

- 2000年から3年ごとに3回実施。2000年は読解力、2003年は数学的リテラシー、2006年は科学的リテラシーを中心にして調査予定。

## 査の参加国



**2000年調査は  
世界32か国で実施！  
265,000人以上の  
生徒、約7,000校の  
学校が参加しました**

※2001年12月現在

### ▶ 予備調査とは？

世界中で国際的に統一した試験を実施するためには、試験問題の質の統制が大変重要になります。

OECD-PISA調査では、「本調査」を実施するそれぞれ1年前に、全国25校、1,000名を対象に「予備調査」を実施することによって、試験問題の適切さを確認し、本調査でより正確な調査結果を生み出すよう取り組んでいます。

## OECD-PISAの全体計画

1997年

●調査概要の検討 ●契約期間の決定 ●BPC会合

1998年

●調査計画・内容の検討 ●標本抽出作業  
●フィールド・トライアル（予備調査）用問題の翻訳等  
●BPC・NPM会合

1999年

●フィールド・トライアル（予備調査）の実施  
●データファイル作成等 ●調査項目案作成 ●BPC・NPM会合

2000年

●本調査の実施（読解力中心） ●データファイル作成  
●BPC・NPM会合

2001年

●報告書作成 ●調査計画・内容の検討 ●標本抽出作業  
●フィールド・トライアル（予備調査）用問題の翻訳等  
●BPC・NPM会合

2002年

●フィールド・トライアル（予備調査）の実施  
●データファイル作成等 ●調査項目案作成 ●BPC・NPM会合

2003年

●本調査の実施（数学的リテラシー中心）  
●データファイル作成 ●BPC・NPM会合

2004年

●報告書作成 ●調査計画・内容の検討 ●標本抽出作業  
●フィールド・トライアル（予備調査）用問題の翻訳等  
●BPC・NPM会合

2005年

●フィールド・トライアル（予備調査）の実施  
●データファイル作成等 ●調査項目案作成 ●BPC・NPM会合

2006年

●本調査の実施（科学的リテラシー中心）  
●データファイル作成 ●BPC・NPM会合

2007年

●報告書の作成 ●BPC・NPM会合

第1サイクル（読解力中心）

第2サイクル（数学的リテラシー中心）

第3サイクル（科学的リテラシー中心）

# OECD生徒の学習到達度調査（PISA）2000年調査の国際結果

日本では2000年7月に実施された本調査の国際結果が、2001年12月4日、世界各国で一斉に公表されました。これによれば、持っている知識や技能を実生活の様々な場面で直面する課題に活用する力について、日本の生徒は、国際的にみて上位に位置していることがわかりました。結果の概要は以下のようになっています。

- 総合読解力については、日本はフィンランドに次いで2位グループ（順位としては8位であるが、2位のカナダと統計的に有意差はない）。また、読解力のうち「熟考・評価」については1位グループ。「情報の取り出し」「解釈」については、いずれもフィンランドに次いで2位グループ。
- 数学的リテラシー及び科学的リテラシーについては、いずれも1位グループ。

- 読解力の習熟度を高い方からレベル5からレベル1及びレベル1未満の6段階に分けると、日本は、少なくともレベル3以上の生徒が約4分の3を占めており、レベル1及びレベル1未満の生徒の割合はOECD平均を大きく下回っている。一方、レベル5の生徒の割合はOECD平均と同程度。

- 校長の評価による学級の雰囲気に関する指標は、韓国に次いで高く、日本の生徒も教師も肯定的・良好な学級雰囲気をもっていると評価されている。

- 校長の評価による教師のモラル（志気）指標では、主要国の中ではニュージーランド、アイルランドに次いで高く、日本の教師のモラル（志気、熱意、誇り）は高いと評価されている。

- 日本の生徒は、国語や数学、理科について「宿題や自分の勉強をする時間」が参加国中最低である。

- 読書について、「趣味としての読書をしな」と回答した生徒の割合が参加国中最も高い。

読解力、数学的リテラシー及び科学的リテラシーの平均得点の国際比較

| 総合読解力       |           | 得点  | 数学的リテラシー    |     | 得点        | 科学的リテラシー    |  | 得点 |
|-------------|-----------|-----|-------------|-----|-----------|-------------|--|----|
| (日本は2位グループ) |           |     | (日本は1位グループ) |     |           | (日本は1位グループ) |  |    |
| ①           | フィンランド    | 546 | 日本          | 557 | 韓国        | 552         |  |    |
| ②           | カナダ       | 534 | 韓国          | 547 | 日本        | 550         |  |    |
| ③           | ニュージーランド  | 529 | ニュージーランド    | 537 | フィンランド    | 538         |  |    |
| ④           | オーストラリア   | 528 | フィンランド      | 536 | イギリス      | 532         |  |    |
| ⑤           | アイルランド    | 527 | オーストラリア     | 533 | カナダ       | 529         |  |    |
| ⑥           | 韓国        | 525 | カナダ         | 533 | ニュージーランド  | 528         |  |    |
| ⑦           | イギリス      | 523 | スイス         | 529 | オーストラリア   | 528         |  |    |
| ⑧           | 日本        | 522 | イギリス        | 529 | オーストラリア   | 519         |  |    |
| ⑨           | スウェーデン    | 516 | ベルギー        | 520 | アイルランド    | 513         |  |    |
| ⑩           | オーストリア    | 507 | フランス        | 517 | スウェーデン    | 512         |  |    |
| ⑪           | ベルギー      | 507 | オーストリア      | 515 | チェコ       | 511         |  |    |
| ⑫           | アイスランド    | 507 | デンマーク       | 514 | フランス      | 500         |  |    |
| ⑬           | ノルウェー     | 505 | アイスランド      | 514 | ノルウェー     | 500         |  |    |
| ⑭           | フランス      | 505 | リヒテンシュタイン   | 514 | アメリカ      | 499         |  |    |
| ⑮           | アメリカ      | 504 | スウェーデン      | 510 | ハンガリー     | 496         |  |    |
| ⑯           | デンマーク     | 497 | アイルランド      | 503 | アイスランド    | 496         |  |    |
| ⑰           | スイス       | 494 | ノルウェー       | 499 | ベルギー      | 496         |  |    |
| ⑱           | スペイン      | 493 | チェコ         | 498 | スイス       | 496         |  |    |
| ⑲           | チェコ       | 492 | アメリカ        | 493 | スペイン      | 491         |  |    |
| ⑳           | イタリア      | 487 | ドイツ         | 490 | ドイツ       | 487         |  |    |
| ㉑           | ドイツ       | 484 | ハンガリー       | 488 | ポーランド     | 483         |  |    |
| ㉒           | リヒテンシュタイン | 483 | ロシア         | 478 | デンマーク     | 481         |  |    |
| ㉓           | ハンガリー     | 480 | スペイン        | 476 | イタリア      | 478         |  |    |
| ㉔           | ポーランド     | 479 | ポーランド       | 470 | リヒテンシュタイン | 476         |  |    |
| ㉕           | ギリシャ      | 474 | ラトビア        | 463 | ギリシャ      | 461         |  |    |
| ㉖           | ポルトガル     | 470 | イタリア        | 457 | ロシア       | 460         |  |    |
| ㉗           | ロシア       | 462 | ポルトガル       | 454 | ラトビア      | 460         |  |    |
| ㉘           | ラトビア      | 458 | ギリシャ        | 447 | ポルトガル     | 459         |  |    |
| ㉙           | ルクセンブルグ   | 441 | ルクセンブルグ     | 446 | ルクセンブルグ   | 443         |  |    |
| ㉚           | メキシコ      | 422 | メキシコ        | 387 | メキシコ      | 422         |  |    |
| ㉛           | ブラジル      | 396 | ブラジル        | 334 | ブラジル      | 375         |  |    |

(注) 調査の国際的な実施基準を満たさなかったオランダは除く。

## PISA調査に関する情報は……

- 国際結果報告書（日本語）が国立教育政策研究所編『生きるための知識と技能—OECD生徒の学習到達度調査（PISA）2000年調査国際結果報告書—』として株式会社ぎょうせいより刊行されています。
- 2000年調査結果概要及び問題例等は、文部科学省ホームページでもご覧いただけます（<http://www.mext.go.jp/>）。
- 調査の概要、関係者リスト、各種委員会活動内容、会議予定、各種文書等英文情報はPISAのホームページでご覧いただけます（<http://www.pisa.oecd.org/>）。